

復興に向けて ~それぞれの取り組み~

村の復興計画第4版策定やその先の復興に向け、各行政区や団体がワークショップ等に取り組んでいます。それぞれの話し合いの中での、要望や意見の一部をご紹介します。



12/8 佐須行政区 ワークショップ

- ・土地の価格が下がった場合の対策をしっかりと行ってほしい
- ・太陽光エネルギー事業を共有地で取り組んでみてはどうか
- ・飲料水(井戸)の確保と携帯電話の不通話がないような環境が帰村の前提。対策を早く決めてほしい
- ・集会所の整備も早く計画を示してほしい



12/8 小宮行政区 ワークショップ

- ・戻りたい人戻れない人など意向別にワークショップをやってみてはどうか
- ・日本一高齢者の住みやすい村を目指してはどうか
- ・植物工場などのクリーン大規模農業ができないか
- ・自分で作った野菜が食べたい。家族で食べる分くらいは野菜が作れる環境に戻してほしい
- ・5～10年後の風評被害対策も今から考えるべき



12/20 復興拠点専門プロジェクト委員会

スマートビレッジ構想(案)について委員会を開催

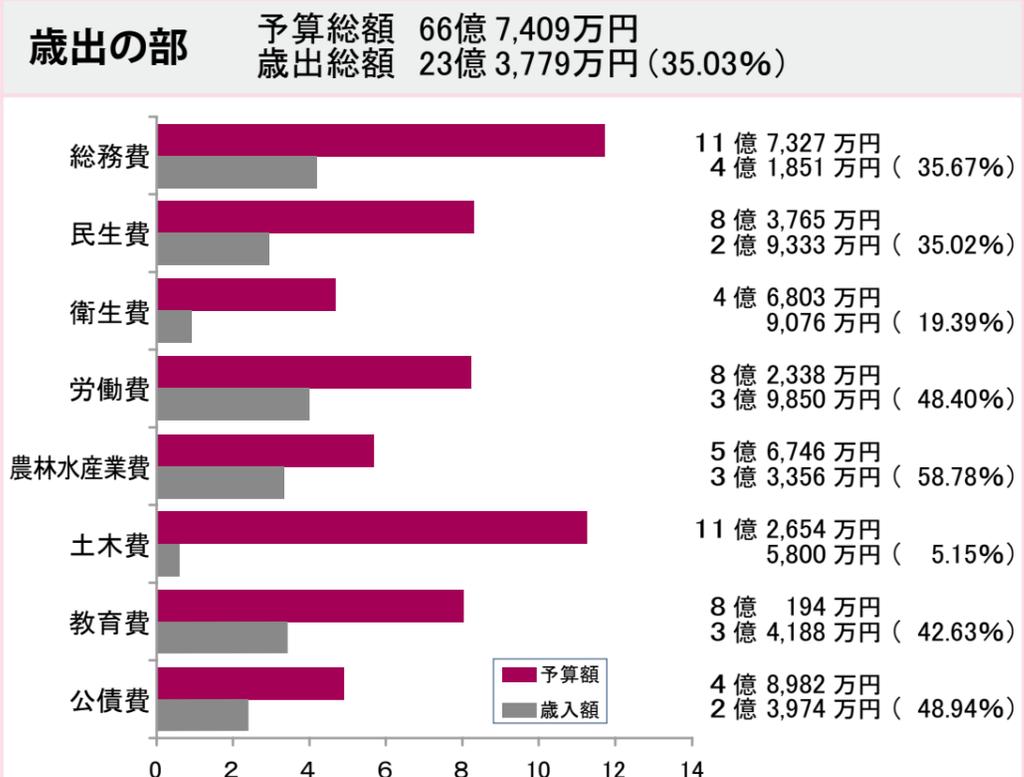
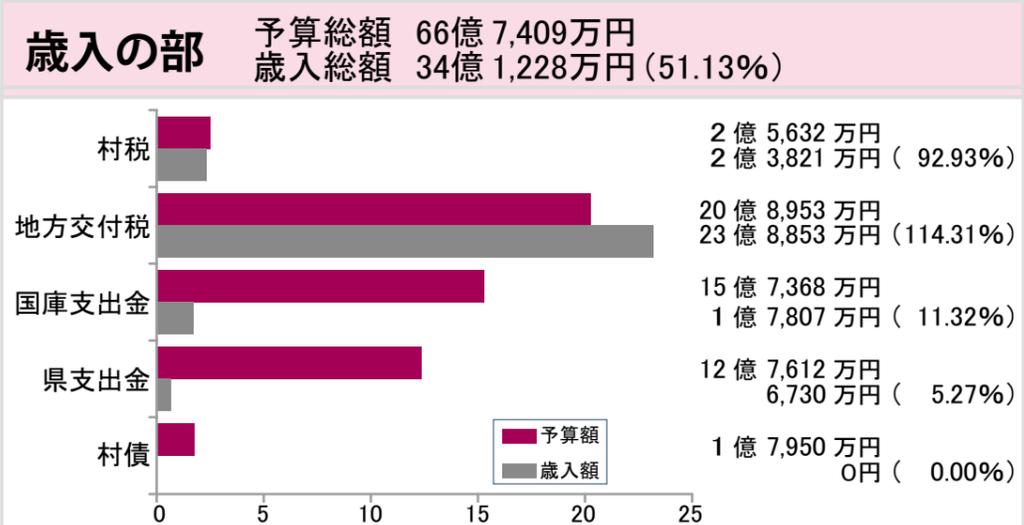
- ・花卉栽培の施設配置を検討してはどうか
- ・太陽光パネルを効率的に配置する設計を組んでほしい
- ・交通機関が入りやすい入口設計を考えるべき
- ・復興のシンボルとしての「まいでい館」に加え、交流観光の拠点として「道の駅」を配置してはどうか
- ・深谷地区の既存の集落とのつながりを大事に構想を考えてほしい



12/18 飯舘村農業委員会

～第2回ワークショップ～

- ・花卉部会など13の耕作部会がある。営農再開のためには部会での話し合いが必要だ。早く対策を立てないと営農意欲がどんどんなくなっていく
- ・除染後、帰村後の農地管理の仕組みづくりを急ぐ必要がある
- ・除染で失われた土づくりに相当の時間を要する
- ・循環型の農業をやってきた。田畑の除染だけでは農業は成り立たない



平成25年度 一般会計・特別会計予算執行状況
中間報告
平成25年11月30日現在 ※主な項目のみです

平成25年度 特別会計予算執行状況

事業	予算額	歳入		歳出	
		収入額	歳入率	歳出額	歳出率
国保事業勘定	13億4,986万円	6億6,194万円	49.04%	7億2,653万円	53.82%
簡易水道事業	1億1,260万円	70万円	0.62%	5,029万円	44.66%
農業集落排水事業特別会計	4,472万円	55万円	1.23%	1,633万円	36.52%
介護保険特別会計	9億4,918万円	5億3,968万円	56.86%	4億5,523万円	47.96%
後期高齢者医療特別会計	2,404万円	25万円	1.04%	347万円	14.43%